

(様式)

北灘西小学校・園：「学力・学習状況」改善プラン

- 1 学力向上推進員 職・氏名 ( 教諭 栗田 敏宏 )
- 2 学力向上検討委員会構成

職名	氏名
校長 教頭 (4年担任) 幼稚園副園長 教務主任 (5・6年担任) 研修主任 (1・2年担任) 養護助教諭	西原 正純 中井 一仁 鍋島 治美 栗田 敏宏 池内 香絵 (美馬 希美) 小西 裕美

3 現状・課題

学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国学力・学習状況調査」の結果では、国語の、「言語事項」や「読むこと」の領域で課題が見られた。算数では、「量の測定」や「図形」の領域に課題が見られた。また、記述形式の問題が苦手であることも見られる。</li> <li>・「徳島県学力ステップアップテスト」の結果では、県平均を上回っていた。</li> <li>・全校で年度末実施している標準学力検査では、ほとんどの者が全国平均を上回る結果が見られた。全体的に、基礎的・基本的な力は定着してきてはいる。しかし領域別に見ると、特に国語の「読むこと」や「言語事項」で課題が見られた。文章の読解力が弱く、物語文の内容理解や、文章題の問題の把握に課題が見られる。文章表現や言葉で伝える力の育成も含めて、更に学習スキルを高めていく必要がある。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数・複式学級ではあるが、少人数という特性を生かした個別指導により学習活動を行っている。</li> <li>・家庭と連携し、家庭学習や読書などの習慣は身につけてきている。</li> <li>・個別の学習状況や課題を把握し、学び集会や補充学習の取り組みを行い、学習習慣の定着と学力の向上を図っている。</li> <li>・発表の機会の充実として、朝会での発表、児童会活動や集会活動での発表の場を増やしている。音楽会や学習発表会では、地域への発表により、表現する楽しさや自信を持てるようになってきている。</li> </ul>

4 目標等

(1) 学力について

重点目標：じっくりと物事を考え、適切に表現する力を高める。「思考力」、「表現力」の育成。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
「思考力」の育成  基礎的な「話す力・聞く力」「読む力・書く力」「計算する力」の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力検査において、個人の観点別得点率が、全国平均より各教科2項目以上上回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎基本の定着               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ドリル教材の活用や反復練習を行う。</li> </ul> </li> <li>◎学習スキルの定着               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自学自習の学習スキルを身につけさせる。</li> <li>・個人ごとの補充・発展問題を多面的に用意する。</li> </ul> </li> <li>◎言語環境の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい話し方や聞き方のスキルを身につけさせる。</li> </ul> </li> <li>◎読書活動の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を持って読書活動をさせるなど、多様な考え方を習得させる。</li> </ul> </li> <li>◎考える力の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年ごとに文章問題に数多く取り組ませ、多様なとらえ方に慣れさせる。</li> </ul> </li> </ul>	4・3・2・1	
「表現力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作文の文章量、語彙数の10%増加。</li> <li>・作文読本への投稿を全児童2回以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎表現の場の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>・作文読本の活用や読書の感想、本の紹介文の作成を通し、文章表現に慣れ親しませる。</li> <li>・発表する場を定期的に設け、体験させる。</li> <li>・ICTを活用したコミュニケーション力・表現力を育てる。</li> </ul> </li> </ul>	4・3・2・1	

(2) 学習状況について

重点目標：自ら課題を見つけ、問題を解決しようとする態度を育てる。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
家庭との連携を通し、適切な家庭学習や読書の習慣を身につけさせるとともに、自ら学ぶことの楽しさを実感させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックリストによる評価を個々の児童において、5ポイント以上あげる(児童数の8割以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習(予習)の習慣を定着させわかる楽しさを感じさせる。</li> <li>・家庭での読書を習慣化し、読解力の育成を図る。</li> <li>・各教科等の時間などに、自ら課題を探究する活動を設定する。</li> </ul>	4・3・2・1	

※評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に○を付ける。